

イタリアンライグラスの晩生優良品種「タキイジャイアント」

畜産試験場

イタリアンライグラスは、収量が多く嗜好性の高い秋播種の冬作飼料作物として栽培されているが、多様な特性を持った多くの品種が市販されており、作付品種の選定を行う判断材料が求められている。

そこで、市販品種のうち有望度の高い品種について本県における諸特性を明らかにし、優良品種の選定を行い、新たに晩生種の「タキイジャイアント」を奨励品種に選定したので紹介する。

【普及したい技術のポイント】

- ①定着時草勢、越冬性(寒害)に優れ、倒伏の発生も極僅かであるため長期の利用に適する。
- ②イモチ病、斑点病の発生がほとんどなく、緑土保持に優れる。
- ③生草総収量、乾物総収量ともに優れ、サイレージ利用、青刈り利用に適する。

	品種系統	播種日	発芽はじめ	発芽揃い日	発芽良否	定着時草勢	越冬性(寒害)	倒伏程度	病虫害程度	
									イモチ	斑点病
H18	ヒタチヒカリ タキイジャイ アント	H17.9.22	9/29	9/30	5.7	3.7	7.7	3.2	1.9	1.8
			9/29	9/30	6.7	4.3	8.0	3.6	1.3	1.0
H19	ヒタチヒカリ タキイジャイ アント	H18.9.26	10/1	10/2	8.0	9.0	7.0	1.7	1.1	1.2
			10/1	10/2	8.0	9.0	7.3	2.1	1.5	1.3
H20	ヒタチヒカリ タキイジャイ アント	H19.9.28	10/3	10/4	7.3	7.7	6.3	1.6	1.0	1.1
			10/3	10/4	5.7	7.7	7.0	2.3	1.0	1.1

	品種系統	出穂程度	出穂始			刈取日			茎数(/m ²)	草丈(cm)
			播種年内	播種翌年1番	播種翌年2番	播種年内	播種翌年1番	播種翌年2番		
H18	ヒタチヒカリ タキイジャイ アント	4.8	-	4/15	-	12/20	5/2	5/30	1532	99
		4.4	-	4/23	-	12/20	5/2	5/30	1744	101
H19	ヒタチヒカリ タキイジャイ アント	3.4	-	4/22	5/16	12/18	4/24	5/28	1366	106
		3.7	-	4/22	5/16	12/18	4/24	5/28	1510	103
H20	ヒタチヒカリ タキイジャイ アント	2.4	-	4/20	5/19	12/18	4/28	5/28	1452	98
		5.4	-	4/22	5/19	12/18	4/28	5/28	1779	91

	品種系統	生草収量(kg/a)				乾物収量(kg/a)				乾物率(%)
		播種年内	播種翌年1番	播種翌年2番	合計	播種年内	播種翌年1番	播種翌年2番	合計	平均
H18	ヒタチヒカリ タキイジャイ アント	286	896	248	1430	46	154	32	232	15.4
		285	913	308	1506	42	161	43	246	15.4
H19	ヒタチヒカリ タキイジャイ アント	438	866	375	1679	55	83	64	202	13.1
		453	1221	374	2048	56	113	68	237	13.0
H20	ヒタチヒカリ タキイジャイ アント	313	1039	390	1742	41	165	49	256	13.9
		297	1069	341	1707	39	176	48	263	14.5

表1 タキイジャイアントの生育特性、収量特性

- 注1) 出穂程度：1(極少)～9(極多)
 2) 発芽良否、定着時草勢、越冬性：1(極不良)～9(極良)
 3) 病害、倒伏程度：1(無)～9(甚)
 4) 乾物率：3回刈りの平均値